

アートコミュニティ形成プロジェクト「こと！こと？かわさき」

4 期「ことラー」募集！ 公開講座や こと！こと？フォーラムも開催します

川崎市では令和 6 年度から、誰もが身近に文化芸術に触れ、参加できる環境「アート・フォー・オール」の実現に向けた取組の一環として、東京藝術大学（東京都台東区）と連携し、川崎のまちをフィールドとし、文化芸術を介して、人と人と場所がつながりあえる「アートコミュニティ」を育むプロジェクト「こと！こと？かわさき」に取り組んでいます。このプロジェクトに市と東京藝術大学とともに取り組み、アート（文化芸術）を介して対話をしながら人・モノ・こと・場所等をつないでいくアートコミュニケーター（愛称「ことラー」）として、2027（令和 9）年度から活動する 4 期ことラーを令和 8 年 12 月 13 日（日）から令和 9 年 2 月 5 日（金）まで募集します。

また、この「ことラー」募集に際し、オープンレクチャー（公開講座）及び「こと！こと？フォーラム」を開催いたします。

1 アートコミュニケーター「ことラー」の募集

アートコミュニティ形成プロジェクト「こと！こと？かわさき」の主体となるアートコミュニケーター「ことラー」を募集いたします。「ことラー」は、対話をしながら市内の文化資源を活かして、人・モノ・こと・場所等をつないでいく人々です。

【募集人数】

30 名（御応募いただいた方々から、書類選考及び面接を行います。）

【参加の条件】

- ・ 18 歳以上（2027(令和 9)年 4 月 1 日現在）で、日本語で日常会話ができる方
- ・ 「アート（文化芸術）」や「コミュニティ」に関心があり、積極的に学び、川崎市内で活動する意欲のある方
- ・ 「こと！こと？かわさき」の趣旨に共感して活動できる方
- ・ 基礎講座全 6 回に原則として全て参加可能な方
- ・ 活動の拠点となる『ことルーム※』や市内の施設等での講座や活動に月 2 回以上参加できる方

※『ことルーム』：多摩区登戸 2092-8 第 8 井出ビル 6 階（小田急線向ヶ丘遊園駅北口徒歩 1 分）

登録期間は 1 年間で、次年度以降は本人とプロジェクトチーム双方の合意の上、登録更新し、最長 3 年間となります。詳しい参加条件や応募要項等については、こと！こと？かわさき Web サイトで御確認ください。



こと！こと？かわさき

Web サイト二次元バーコード

⇒ こと！こと？かわさき Web サイト URL <https://kotokoto-kawasaki.com>

※ 応募受付期間：2026(令和 8)年 12 月 13 日(日)～2027(令和 9)年 2 月 5 日(金)(消印有効)

2 オープンレクチャー（公開講座）の開催

「あそび」を切り口に、人と人のつながり方を考えます。ゲストは、身近な道や公共空間を遊びと交流の場に変える「とうきょうご近所みちあそびプロジェクト」に取り組む TOKYO PLAY 代表の嶋村^{しまむら}仁志さん。アートをきっかけに「好き」「やってみたい」という気持ちから活動が生まれる「ことラー」の取り組みとも重ねながら、日常のなかで気軽に始められ、誰もが自分なりの関わり方で参加でき、無理なく続いていく地域との関わり方を探ります。

ことラーに応募を検討中の方はもちろん、ことラーの講座や活動に関心のある方はぜひ御参加ください。

《開催概要》（添付チラシ参照）

こと！こと？かわさき オープンレクチャー Vol.3

「あそび」から「つながり」が生まれる～ご近所みちあそびから考える、まちとの軽やかな関わり～

- ・開催日時：2026(令和 8)年 12 月 13 日（日）13 時から 15 時 30 分まで（受付開始 12 時 30 分から）
 - ・開催場所：川崎市役所本庁舎 2 階ホール（川崎市川崎区宮本町 1 番地）
 - ・定 員：200 名（要事前申込、先着順）※文字表示支援あり。手話通訳は 11 月 30 日(月)までに要申込。
 - ・参 加 料：無料
 - ・内 容：ゲストによるレクチャーと、ゲスト・プロジェクトマネージャーによるクロストークを通して、テーマを掘り下げしていきます。
- ゲスト しまむら 嶋村 仁志（一般社団法人 TOKYO PLAY 代表理事）
こんどう 近藤 乃梨子(東京藝術大学特任助教／こと！こと？かわさき プロジェクトマネージャー)
たまおき 玉置 真（東京藝術大学特任助教／こと！こと？かわさき プロジェクトマネージャー）
- ・参加申込方法：申込フォームからお申し込みください。⇒ こと！こと？かわさき Web サイト内、申込フォームから
URL <https://kotokoto-kawasaki.com>
申込受付期間：11 月 15 日（日）10:00 開始
 - ・主催：川崎市、東京藝術大学／共催：共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点
 - ・企画運営：こと！こと？かわさき



こと！こと？かわさき
Web サイト二次元バーコード

3 「こと！こと？フォーラム」の開催

2024(令和 6)年 4 月からスタートした「こと！こと？かわさき」は、今年で 3 年目を迎え、現在 96 名の「ことラー」が活動しています。これまで、アートや文化的な活動を通して、さまざまな人が出会い、ともに活動し、コミュニケーションを育む機会をつくってきました。

AI が身近になった今、そのコミュニケーションのあり方を改めて考える機会が生まれています。私たちは人と関わる時、相手や状況によって関わり方は異なり、そのなかで考え方や振る舞いが変わることもあります。そうしたやり取りのなかで、私たちは自分自身や他者をどのように捉え、何を「自分らしさ」と感じているのでしょうか。

今回のフォーラムでは、プロジェクトで展開してきたアートを介したコミュニケーションの実践を手がかりに、人類学者の磯野真穂さん、福田市長とともに、人と直接会い、行動をともにすることが、私たち自身や地域、社会にどのような変化をもたらすのかを考えます。

第 2 部では、各活動について、ことラーから直接話を聞くことができる交流の場を設けます。

《開催概要》

こと！こと？フォーラム

人と会い、ともに行動することで、何が変わるのか？～AI 時代に考える、コミュニケーションと自分らしさ～

- ・開催日時：2027(令和 9)年 1 月 17 日（日）
第 1 部 13 時 00 分から 16 時 00 分まで（受付開始 12 時 30 分から）
第 2 部 16 時 15 分から 17 時 00 分まで
- ・開催場所：川崎市役所本庁舎 2 階ホール（川崎市川崎区宮本町 1 番地）
- ・定 員：200 名（要事前申込、先着順）※第 1 部は、文字表示支援・手話通訳あり。
- ・参 加 料：無料
- ・参加申込方法：申込フォームからお申し込みください。⇒ こと！こと？かわさき Web サイト内、申込フォームから
URL <https://kotokoto-kawasaki.com>
申込受付期間：12 月 15 日（火）10:00 開始
- ・主催：川崎市、東京藝術大学／共催：共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点
- ・企画運営：こと！こと？かわさき



こと！こと？かわさき
Web サイト二次元バーコード

・内 容 : «第 1 部»13:00～16:00

トークセッション 1「人との出会いと活動の中で起きたこと」(ことラーによる今年度の活動紹介)

・登壇者 アートコミュニケーター(ことラー) 数名

近藤 乃梨子(東京藝術大学特任助教/こと!こと?かわさき プロジェクトマネージャー)
ほか

トークセッション 2「人と会い、ともに行動することで、何が変わるのか?」(登壇者によるクロストーク)

・登壇者 磯野 真穂 (人類学者)

福田 紀彦 (川崎市長)

近藤 乃梨子(東京藝術大学特任助教/こと!こと?かわさき プロジェクトマネージャー)

玉置 真 (東京藝術大学特任助教/こと!こと?かわさき プロジェクトマネージャー)

«第 2 部» : 16:15～17:00

ことラーによるオープンセッション

ことラーが日頃の活動を紹介します。時間内は自由に出入りできます。

【登壇者プロフィール】

いそ の ま ほ
磯 野 真 穂



長野県安曇野市出身。早稲田大学人間科学部スポーツ科学科を卒業後、トレーナーの資格を取るべく、オレゴン州立大学スポーツ科学部に学士編入するが自然科学のアプローチに違和感を覚え、文化人類学に専攻を変更。同大学大学院にて応用人類学修士号、早稲田大学にて博士(文学)取得。その後、早稲田大学文化構想学部助教、国際医療福祉大学大学院准教授を経て4年間在野の人類学者として活動。2024年より東京科学大学リベラルアーツ研究教育院教授。一般社団法人 De-Silo 理事。応用人類学研究所・ANTHRO 所長。単著に『なぜふつうに食べられないのか—拒食と過食の文化人類学』(春秋社)、『医療者が語る答えなき世界—「いのちの守り人」の人類学』(ちくま新書)、『ダイエット幻想—やせること、愛されること』(ちくまプリマー新書)、『他者と生きる—リスク・病い・死をめぐる人類学』(集英社新書)、『コロナ禍と出会い直す—不要不急の人類学ノート』(柏書房、第33回山本七平賞受賞)、『社会が壊れるその前に—メアリ・ダグラスの人類学』(新潮選書)、共著に『急に具合が悪くなる』(宮野真生子との共著、2026年濱口竜介監督により映画化)がある。

問合せ先

川崎市市民文化局市民文化振興室 濱松
電話 044-200-2122 内線 27701

アートコミュニティ形成プロジェクト「こと！こと？かわさき」とは？

アートコミュニティ形成プロジェクト「こと！こと？かわさき」は、川崎のまちをフィールドとし、文化芸術を介して、そこに生まれる“こと”と“こと”をつなぎ、人と人々や人と場所がつながりあえる「アートコミュニティ」を育むプロジェクトです。活動主体であるアートコミュニケーター「ことラー」が、市と東京藝術大学とともにプロジェクトに取り組んでいます。



様々な背景や興味関心を持つ人たちが集まり、講座やワークショップを経て、活動に必要な考え方を共有し、市内の文化芸術資源を用いて、気づき(！)や問い(？)を重ねて、新たなコミュニケーションを創出し、市内の文化資源をより身近に感じられる、多彩な活動につなげていきます。ゆるやかにつながりあう活動やネットワークが広がることにより、多様な市民と社会をつなぎ、文化施設のみならず、医療施設や福祉施設等とも連携し、「対話のある社会」、「多様性が尊重される社会」、「孤立しない社会」など心豊かに暮らせるウェルビーイングなまちの実現を目指します。

令和8年度には第3期32名を加え、現在総勢96名のことラーが活動しています。

※ 川崎市は「アート・フォー・オール」実現に向け、東京藝術大学を中核とした「共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点」に参画・協働しています。

《プログラムの内容》

1 基礎講座（4月から6月隔週開催 全6回）

ことラーとして必要な、対話力やより良いコミュニケーションの取り方などを、講座を通して学び、基本的な考え方を共有していきます。

- ・オリエンテーション、鑑賞体験、「きく力」講座、グッドミーティング講座 ほか



基礎講座の様子

2 実践講座（7月以降、複数のコースから1コース以上受講、各コース6回(月2回)程度）

作品鑑賞やフィールドワーク、グループ活動など市内の様々な施設等と協働して行い、実践的な活動を通して、対話や新たな価値を見出す力を養う活動を行います。



フィールドワークの様子

3 実践プログラム（年数回）

市内の文化施設や団体と連携して、学んだことを実践として活かしていくプログラムを行います。

《2026年度実践例》

- ・ウキウキみるみるアートクルーズ（川崎市浮世絵ギャラリー）
- ・ことラーの見どころ体験ツアー@市庁舎（川崎市役所本庁舎）
- ・ミューザの日 2026「ミューザ美術館を探検しよう！」
- ・かわさき記念病院デイケアでのワークショップ



アートクルーズの様子



見どころ体験ツアーの様子

4 ことラー全員で取り組むプログラム（随時）

市内の文化施設や地域と連携したプログラムを行います。

《2026年度実践例》

- ・川崎市市民ミュージアム 収蔵品レスキュー参加プログラム
- ・まぜこぜカフェ など



収蔵品レスキューの様子

5 自主的なプロジェクトの企画・検討及び実践【ことラボ】(随時・1年目は7月以降)

自主的にアイデアを出し合い、「この指とまれ」・「そこにいる人が全て」（やりたい人が呼びかけ、その場に集まった人たちで進める）方式で、そこに自分たちのリソースと市内の文化資源を掛け合わせて企画立案、検討を重ね、スタッフとも相談しながら、実際にプロジェクトを実行していきます。



Colors かわさき展でのラボの様子



ラボ「オトがたり」の様子

アートを通じて人と人のつながりを育む「こと!こと?かわさき」。第3回オープンレクチャーでは、「あそび」を切り口に、人と人のつながり方を考えます。

ゲストは、身近な道や公共空間を遊びと交流の場に変える「とうきょうご近所みちあそびプロジェクト」に取り組むTOKYO PLAY代表の嶋村仁志さん。いつもの道が遊び場になると、そこに暮らす人たちが自然と顔を合わせます。日常のなかで、そこにいる人たちが始められること。遊んだり、眺めたり、ちょっと手伝ったり。そんな気負いのない場から、ご近所のつながりが生まれます。

こと!こと?かわさきでも、アートをきっかけにことラーの「好き」「やってみたい」から活動が生まれ、ほかの誰かが自分なりの形で加わっていきます。そんな共通点にも目を向けながら、気軽に始められ、無理なく続く地域との関わり方を探ります。

オープンレクチャー Vol.3

参加
無料

あそびから つながり が生まれる

2026
12/13 (日)

13:00-15:30

～ご近所みちあそびから考える、
まちとの軽やかな関わり～

ゲスト

しまむらひとし
嶋村仁志 さん

一般社団法人 TOKYO PLAY
代表理事

1995年、英国Leeds Metropolitan大学ヘルス&ソーシャルケア学部プレイワーク学科高等教育課程修了。羽根木プレーパーク、川崎市子ども夢パークなど冒険遊び場のプレイワーカーを歴任後、2010年TOKYO PLAY設立、代表就任。子どもが豊かに遊べる社会の実現に向けた中間支援に取り組む。IPA東アジア副代表を務め、国際ネットワークも広い。日本遊ぶ協議会共同代表。一男一女の父。

※ 文字情報支援あり／手話通訳をご希望の方は、
11月30日(月)までにお申し込みください。



参加申込みはこちら ▶

<https://kotokoto-kawasaki.com/2026-openlecture>

4期 ことラー募集

応募受付期間：2026年12月13日～2027年2月5日

※詳細はウェブサイトへ <https://kotokoto-kawasaki.com>

日時 2026年12月13日(日) 13:00～15:30 (開場12:30)

会場 川崎市役所本庁舎2階ホール (川崎市川崎区宮本町1番地)

定員 200 名 (要事前申込・先着順)

主催 川崎市、東京藝術大学

共催 共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点

問い合わせ contact@kotokoto-kawasaki.com

こと!こと?かわさき は、川崎のまち全体をフィールドとし、アート(文化芸術)を介して、人と人、人と場所、人とモノの間に「こと」を生み出し、人々がつながり合う「アートコミュニティ」を育むプロジェクトです。広く一般から集まったアートコミュニケーション「ことラー」と川崎市と東京藝術大学が連携して取り組んでいます。

ことラー は、アートを介して「こと」を起こす人々です。様々な背景や興味関心を持つ人々が集い、対話を重ねることから活動が始まります。会社員や学生、フリーランサー、専業主婦、退職後の方など、多彩な人々で構成されています。